

「通信指令員として大切な役割を担う！」

通信指令室 消防士長 山脇 浩典(平成17年入職)

私は、小学生から野球をしており体力には自信があったことと、自分が生まれ育った四條畷市に貢献できる仕事がしたいとの思いから、消防を目指しました。

平成17年に消防士を拝命して、消防隊や救助隊を経験し、現在は、通信指令室で勤務をしています。

通信指令室は、管内で災害や救急事案が発生し、119番通報をした人と最初に接する部署です。迅速かつ正確な情報を聴取するため、通報者の方をできるだけ落ち着かせ、通報者の心境などを考えたうえで、内容を聴取するよう心がけています。

また、突然倒れた方などの救急要請では、通報者に適切な応急処置を指導し、救急隊には現場ですぐさま救命処置ができるようその状況を伝える大切な役割を担っています。



私は直接、市民の方に接することはありませんが、自分も現場で活動する隊と「同じチーム」という意識を持ち、消防隊や救急隊が現場到着後スムーズに活動できるよう必要な情報を的確に伝えることが、一分一秒を争う災害現場には重要なことだと考えています。

当消防本部を目指そうとしている皆さん、

消防はとてもやりがいのある仕事です。大東・四條畷両市民の安心・安全を守るため、是非一緒に頑張りましょう！